

貿易自由化を迎えてハイカラ神戸っ子が語る

# 神戸と舶来品



渡辺さん



芦原さん



高須さん



小林さん



竹中さん

いよいよ貿易の自由化ということで、外国商品がより豊富に出まわるわけですが、神戸は舶来品とは早くから馴染が深く、従って舶来品愛好家も多いと思うのですが、舶来品輸入当初の頃の話からはじめていただきますよか。

小林 神戸と横浜にレンクロフォードという店があったんですが、レンクロフォードが道を開いた神戸です。輸入品を見る眼をもった人や、戦前からのファンが多かったです。東京からも買いに来たり。サノへさんとは古いわけですね。

芦原 うちが洋品雑貨類を売ってましたので唐物屋と言われてまし

唐物屋と呼ばれる当時の洋品雑貨店

▼出席者

ゲスト

竹中 郁

(詩)

小林 延光

(元町バザール)

芦原 博之

(サノ)

高須 康雄

(エスターニュートン)

渡辺 檣治郎

(柴田商事KK)

た。大体洋品雜貨店の前身は、この呼び方ですけど、年寄った人の方がよく使った呼名です。おまえとは唐物屋やそうやけど、何て読むんや、サノへかへノサか、舶来読みしたらへノサになるな言われてからかわれたもんで(笑)

小林 昔の唐物屋は今のようにならなもんなやなかったですよ。パレーのカミソリの刃いうてもマルゼンへ行かんとなかったし、ジレットにしてもレンクロにしか置いてなかつたいう風にね。今はそんなもの道端でも売ってるでしょ。こんないろいろなもんがフリーに入ってくるというのは驚異ですな。戦前の方が舶来品にかかる課税率は高かったですよ、奢侈税いう分ですな。十割もかかってたんですから、そんな高価なものを買うたいうことでとても大切にしましたな。結局その頃の舶来品のイメージというのは、日本に全然ないパリのレインコートとかバンビユーゼンのカラーなんかでしてね。

菅原 そうそうあのカラーは今でもちっとも型が変わってませんねえ。まあ、雑貨屋で古いのは丹波屋さん、山中屋さん、レンクロフオードぐらいでしょうね。レンクロフオードは英国の植民地にはたいていあった商会ですが。

高須 婦人服の方は小野さん、めぐりさん、それから大丸前のミサワさん、レア商会と私とこがまあ古いですが。

小林 ニュートンさんとことレア商会がまあ日本の婦人服の草分けでしょうね。やはり舶来もんはよろしいですか。

人よくなつて来てますすけど、やはりそれ以上にあちらのものとは色とか服地の風合という点で優れてると思いますな。

竹中 たしかに外国品を輸入するということは日本製品のレベルを引き上げるための刺激剤ですな。こりや、やっぱり外国品に負けまいとする紳士の気性やな。だから単に舶来品を消費するということだけじゃなくて、こういう見方をしような。実際こんな極東の端っこにおつて他所から輸入せん限り進歩はありませんわね。

——柴田さんの方はいかがですか紳士服のジャンルでは。

渡辺 最近割合によく輸入されてるのよ、それでも国産の毛織物に対して〇・八%程度なんです。一〇〇人に一人の割合以下ですね。値もかなり安くはなりましたがまだまだこれからです。モヘヤ、ツイード、カシミアなど国産では追いつけないものもずい分ありますし、もっと普及するでしょうね。

竹中 私のおやじが当時というハイカラ好みでしてな、柴田商店さんで子供の頃服を眺めたもんで。子供の時は洋服が嫌いで嫌いで、派手なチェックのハンティングコート言うて、狸の時の服ですわ。それが始めて作つてもろうた洋服でしたが、小学校三年生やつたかな。派手な大きい格子でね、学校へなんか着て行けたもんじゃないなかつた(爆笑)

小林 あの頃、変わった風して学校へ行つたらういじめられたもんですねえ。私も皮靴はいて行つて泣かされたことありますわ(笑)

竹中 僕は子供の頃、かん性病み

でね、あの服はスコッチやったから固いでしょ、襟がぐつとすると毛がくしゃくしゃして肌をさすんですよ、そんで涙ポロポロ流したこともありすよ。そこで柴田さんへ行つて、とうとうその襟にピロイドをつけてもろうた。

菅原 私らの子供の時分いいましたら、洋服地はほとんどがスコッチ系統のガチツとしたもんですな。

竹中 大人になつてからはじめてこしらえたのが夏服でね、ねずみにあめ縞の上着に白のストラックスやった。何やテニスにでも行くような格好で。洋服作るのは夏やつたら金がかからんでしよう、それで夏に洋服入門いうことにしたんですわ(笑)

小林 昔は夏には白のストラックスはきましたな。

竹中 今は三揃いはへりましたな。昔は嫌でも三揃いでしたけど。しかし考えてみると今でも、職業によつては着てもらつた方がええ人もあるね。たとえば、銀行マンとか大学のプロフェッサー、お医者さんなんかは、三揃いの方が威厳があつてよろしいな。

小林 そうですね。そういう職業の人にはトレッドマークですからねえ。やはり自分のトレッドマークを持つことは必要ですよ。野球の解説の小西徳郎さんは実におしゃれがうまい。お金を持ちあわせていない時でも舶来品の高いのを買ったがる人です(笑) テレビ出演の時には服とかネクタイとかよく考えて着てますわね。この人なんかもいつも彼らしい服装をこなしてるから、立派なもんですよ。

菅原 竹中先生もいつもいいセン

スのものを着てはりますな。スポーツイというのかラフというのか。

竹中 いや、別に頭のてつぺんからつま先まで舶来づくめやいうことないんですがね。何で舶来品買うかという第一に外国品に対する好奇心ですな。第二に自分の経済力の範囲で舶来品を使って楽しみたいという気持ちですな。しかし、生活に何かプラスにならんようなもんを買うのは馬鹿気てますよ。日本はなんといつても後進国だったというコンプレックスがありますけど、盲目的な舶来品礼讃は感心できません。貿易自由化というこの機会に、国民全部がそういう良識を身につけられたら貿易自由化大歓迎、日本の経済も健全ということができますがね。

### 昔と型の変わらない 英国の紳士服

竹中 紳士服はやっぱり英国の伝統ですな。うちのおやじの着てたオーバーなんか、戦争中まで残ってましたけどね、チャートルの着てたあのデザインと同じで裾は切りっぱなし、生地がたいへん厚うてそれに重とうて重とうて。

渡辺 今は織り方も進歩してますし、軽くなりましたが、オーバーでも重いものは売れなくなりましてね。

竹中 イギリスという国の気候を考えるとあの部厚い密な織り方の服は当然ですな。あの濃霧や雨を通してためには……。

日本人は三〇年前まで絹や麻を着てたんですよ、風邪も引かんとね。

荻原 私のおやじの作ったインバネスいうもんがあるんです。スコ

ッチ系の固い生地で今でも虫も食わんと残ってるんですよ。

小林 特に英国のものはデザインはあまり変わりませんね。たとえばバンヒューゼンは織り方そのものがパテントになっていて襟型はいろいろあるけれど昔のようにインチ4分3といつてコシと同じ高さの襟ね。

荻原 そうですわ。ウエリントン型いふのなんか、今も昔も同じ番



号で売ってますからね。世界のパテントになつてゐるわけですね。

竹中 型がかわらん言うことはイギリスの保守主義ですなあ。

荻原 今から三〇年位前にはシルクハットにダービーハット、いわゆる山高帽子というの全部舶来品でしたな。子供の頃やっただけで、小学校の校長や村長いうたら必ずかぶってたもんです。

竹中 冠婚葬祭には必ずかぶってましたなあ。ひどいのは紋つき袴姿にあの山高帽。しかしあれはか

ぶる時と場所柄を誰かが間違つて伝えたと思うんですよ。以前イギリスへ行つた時の話ですが、街を歩いてる人が、みんなかぶってるんでびっくりして、何や今日はロンドン祭日かいな思うてね(笑)小林 当時雑貨屋であの帽子売ってない所はなかった。

竹中 イギリスにとつて日本はええ得意先やつたやろな(笑)

小林 山高帽が間違えられて入つて来たと同じようにあのモーニングコートも正式な礼服と考えられてるのはおかしいですな。テールコートが正式で、モーニングは略式なんですよ、ほんとうは。

竹中 日本人は足が短うて曲がつてるのにはモーニングのたて縞のズボンはいも以合わんね。今の若い人が体格もようなつて脚も長うなつたら着てもいいですよ。そやけどイギリス人位でしょ、モーニングを着る国民は。この間のケネディ大統領の葬式の時でもケネディの弟さんたつた一人やつた。彼は皆ダークを背広で着て前のパーキング元師の時も誰も着てなかつた。

荻原 なかなかよう観ておられませぬ先生。

竹中 日本人はもつと背広を作るべきですよ。背広一〇着作つてはじめてモーニング眺らえるのがほんとうですな。三着の背広をきりきり舞いさせておいてモーニングはちゃんど持ってるいうのはどう考えても可笑しいな(笑)洋服屋さんもモーニング作るというお客にはアドバイスしてやるぐらいでないとおかん。

渡辺 いやあ、どうも(笑)しかし、モーニング作らるるお客さん

が多いんでしてね(笑)  
菅原 そら洋服屋さんとしては儲けたいとこですものね。

小林 デパートのシヨウウィンドウに飾ってあるモーニングと、下に着せてあるひだつきシャツの組み合わせも正確に言うと同様です。ひだつきのシャツはタキシードにもっていくもんなんですがね。

高須 その点婦人ものでは決まった礼服というのがなくて、気は楽です。

日本一

おしゃれの上手な神戸っ子

小林 婦人ものには楽しいな、ヴァラエティがあつて。

高須 この頃はフランス品が主ですが、イタリアファッションも入って来ますね。

小林 婦人服でも着る場所と時を間違つた着方をしていゝる場合はあると思ひますよ。例えば一番の例が、新婚旅行の時の服装ねこの間九州へ旅行した時、沢山のカップルを見ましたが、どうしてみんなああ一様に帽子をかぶり、ドレッシーナドレスかなんか着てかかとの高い靴をはくんでしょうね。セーターを着てスポーツイニでさんもうでしようかなあ。

竹中 私もよう思うことですが、和服の場合、訪問着というたら猫もシヤクも真白けや。個性もなんにもあつたもんやない。あれは男性から見ても面白くないわ。

菅原 でも裏服を着ると女性はいきれに見えますな。スツキリとしてね。

小林 裏服の女の人は最高ですな。

高須 白と黒の美しさというんでしような。

小林 フランスの女性が黒を好んで着るといふのも、黒が女を美しく見せるいふことをよく知つてのことやろか。

竹中 まあ、むこうはカトリックの影響で。抑えるが。という宗教心があるんでしようがね。日本でも面白い話あるんでつせ。尾形光琳の時代ですけど、京都の中村屋いゝ呉服屋のおかみさんが、衣裳コンクールに出るといふので光琳にデザインを頼んだところ、何も考へることはない、白と黒の紋つきで出え、と言つたそうです。それで言われたと通りにしたところ、

一等賞や。昔でも衣裳くらべなんていふのがあつたんですね。しかし、洋服の着こなしについて、神戸の女性はいまね。

菅原 たしかに神戸っ子はおしゃれ上手といえますね。日本でしよな。東京や大阪の人は自分に

以合つて似合わなくても、流行やいふと飛びつく傾向があるようですな。神戸の女性は自分の個性にあわせて着こなしているところがいいんです。

高須 うちのお客さんで、ラベンダーか紺ぐらいいしかお召しにならない方がいらつしやいますか、すべてアクセサリーも統一なさつてます。それで二年か三年に一度少し色をお変へになるんですが、そうなるの大へんですよ、アクセサリーすべてのカラーを揃えるいふことになりすからね。

小林 たしかに自分個々の色をもつていふことにはすばらしいことだと思ふね。

商売のしにくい神戸

菅原 こんな風に関西の人の目は高い。輸入品に接することが多くて、自然にそうなるんでしようね。だから神戸という土地は商売しにくいんですよ。とことんまで値打ちがあつて安いもんでないお客は買わない。特殊な業態のダイエーとか星電社、それに舶来品ではミツチャンが大阪や東京にもなく、神戸独自のものであることも面白い現象や思ふんですが。

竹中 関西、特に神戸には地道な生活をしようという心がまえの人が多いということじゃないですかな。

小林 それにしてもミツチャンは当りましたな。フランスの一流の香水でもちゃんとケースに入れて飾つてある、大したもんですよ。まあ大体がそう値の高くないもんばかりで種類も多いようですが、大阪からも買ひに来る位ですからえらい人気ですな。

東京ではデラックスな舶来品店があります。友達がやつてる店へ時折行くんですが、この人どうかなと思ふ様を買ひ方しますね、東京の金持いうたら。なんでもかでも高かつたらええねんから。

菅原 今はもう亡くなられた電通の吉田社長という人も舶来品の好きで、店へ入つて来て、あれとこれ、それなどと包装もさせずにポケットにポイポイ投げ込んで帰りはつたといふことです。一度に一〇個ぐらゐの買ものはいつものことその品物を又すぐ人にやつてしまふことでも有名でしたよ。吉田社長が亡くなつたので、店はいええお客を失つたやうに嘆

息



美しさを創る…

**アスター・ニュートン**

トア・ロード③1818



PELO TIES  
WEST GERMANY

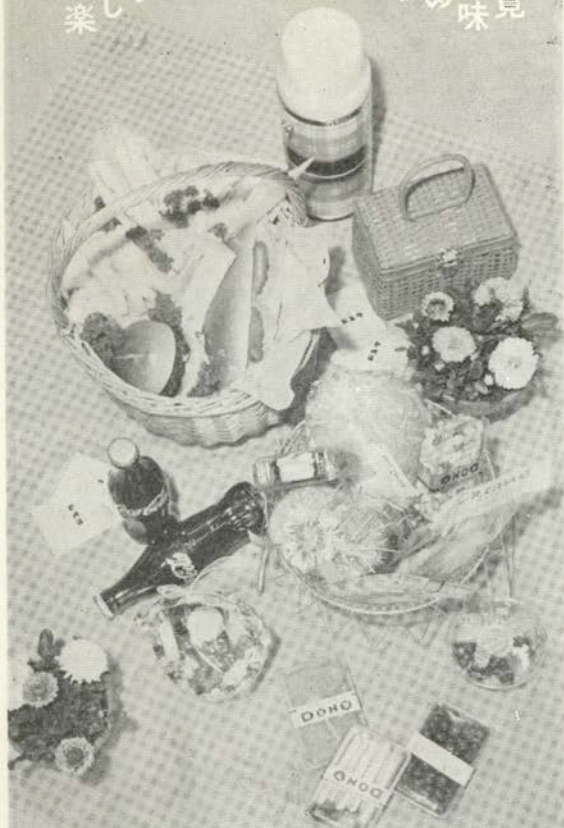


ネクタイの専門店

**元町バザー**

神戸×元町 TEL③1401

楽しいピクニックにドングの味覚



7ラン入菓子  
**ドング**  
 センター街角 TEL (39)5481~3

春だ！  
 ビールだ！  
 乾杯！



三神ビル屋上ビヤガーデン  
 神戸・生田警察署前③5520

ビヤホール & レストラン

**ニートー**

神戸・三宮大丸山側③1422・6457

てるそうです。

竹中 人にやると言うのは、社長としては色いろな意味もあつたでしょうね。

——この人こそ見上げた舶来愛好家といえる方をご存知ありませんか。

竹中 つまり模範的な舶来愛好家ということですね。自分の商売にのせるためとかいうのでなく、ほんとうに外国品の良さを認識して使つて、それが国家の向上にも役立ったといふような人こそ見上げたもんですな。

小林 それにはやはり外国で暮らしたことがあるの方が理解が深いのではないのでしょうかね。

竹中 神戸ではこの間亡くなられた西村貫一さん、あまり表立つた人じゃなかったけど、小林定夫さん。決して無茶な買い方はしない人達です。それに明治の西園寺さんも。戦後、京都にある西園寺さんの別荘へ行つたんですが、今は京大教授の会合所になつてゐる所です。西園寺さんのお部屋いゝのが十二畳と八畳の間でなんと桐のタンスが四棹あつた。一棹に五段引出しがあつたとして二十段の引出しにぎつしりと服がつまつてました。洋服の数も大したもんだと思ひますよ、おそらく。

衣裳もちですな、いくら金に糸目はずけない身分とはいへね。

### セレクトされる神戸の舶来品

——今後の輸入品の見通しはどうでしょうか。

荻原 自由化自由化いいますけどこれから入つて来る舶来もん相当高うなりませ。といふのは三五

%の保証金問題もありますし。

小林 現在、欧州のインフレといふのはたいへんなものでね。フランス、イタリアでも労働賃金の大巾値上げでこたえてるんですよ。原価で大体五%アップですものね

渡辺 そうですね、毛織もの場合でも年間五%ずつ上つてます。小林 いわゆるアドケーションがなくなつたということと自由化で競争がはげしくなつたこと、従つて小売価格は下がらないかと思

うね。輸入屋のマージンは減るんです、ほんとうのこと申しますと。竹中 しかし、洋酒は下がつてるとちがいますか。

小林 洋酒は安うなつてもいいでしょう。原地の四、五倍もするんですからねえ。

渡辺 でも一流品で名の通つてるものはやはり高いでしょ。

荻原 え、ジョニーウォーカーの黒ラベルなんか、あちらで買つたら安いのに日本じゃ一万円もするんですからねえ。

渡辺 明らかにエイジェントのマージンですすね。洋酒類は自由化になつても今までと変わらんのじやないかということですね。

小林 ところで、これからの輸入品は、需要者が選んで決めるということですね。神戸の舶来品はますますセレクトされるでしょう。私の方でも先年ネクタイでイタリイ製のものを入れたんですが、客が好まない、売れない、だから業者側としても扱わなくなる。自然淘汰ですよええ。これは他の業種でも言えることやと思ひます。

竹中 日本ではカメラやトランジスターラジオをどんどん輸出しようや。

### ピンク・コーナー



チヨコレートのコマーションャルに出て、食ひ気一方かと思われていた加賀まりこちゃん、今では一躍映画界のスターダムにのし上がったしまいました。しかも、それがオジサマ族をコロリと参らせる「悪女役」の第一人者？というのですから、とんだ飛躍ぶりです。さて、「悪女」というのは文字通り「悪い女」と解釈してしまえば、味もそつてもありません。現在映画やテレビでもはやされてゐる「悪女」は、なかなかニュアンスがあつて、文字で現わすのはむづかしいのですが、しいて言え、まず美しくかあいいこと、そして小柄であることが大切で、それどこか神秘的な魅力をもつてゐること。昔の「小妖精」といつた言葉がピッタリとするでしょう。だいたい「悪女」流行の本場はパリで、ブリジッド・バルドーやジャンヌ・モローが中年の紳士を殺しはじめたから、日本にもようやく「悪女時代」のキザシが見えて来たといふことでしょうか。この悪女たち、欲望を追求することに急で、金にエンのない若い男性には目もくれません。そこでオジサマ族がねらわれわけですが、オジサマ族の方もグラマー美人よりは、「悪女」の方が好きをようです。小柄ですから、体力の衰えたオジサマ族でも、どうかベッドまで抱いて行きますからね。

(T)

菅原 そうですよ、カメラやラジオ、電気製品ね、これはもう日本は国際的レベルですよ。

小林 そのラジオでちょっとゆかいな話があるんですけど。この間ミラノへ旅行した友人の話ですけどね。ソネー、ソネー言うてトランジスタラジオを売っている。ソニーかしらと思つて近よると、相手はラジオを隠すんですね。よう見るとソネーはソニーのイミテーションヤと分つたんでびっくりしたということなんです。(爆笑)ソニーも偽ものが出るようになればもう大丈夫ですね。

竹中 歌でも替え歌が流行するようになってるとええ言いますもんねえ。(笑)

小林 香港みたいなフリーの港ではもうどんな商品でも売ってるんです。しかし香港独特の綿製品と香港フラワーがあることで経済のバランスが取れているんだから、日本でも、日本のいいものはほとんど外国へ出して、どうしても日本じゃ作れんものを輸入するということがこれからの貿易の自由化を育てていく経済だと思いますね

竹中 そらそうやな。

小林 香港ではバンコックからマツチを輸入して使ってる、小さなマツチでね。それで沢山の余った人手はボタンつけとかハンカチのエンブroidね、それから香港フラワー、縫製品にまわすのです。日本より加工賃が安いんです。縫製品では世界のマケットの六〇%もつてて世界ですよ。日本からセーターやカーデガンを送って、スパンコールをつけて送り返してくるんです。日本で売っているスパンコールのセーターなんかでいい

ものはほとんど中国で加工されるんですよ。

竹中 それであれば、中国くさいんやね(笑)

最後に舶来品を買うについてのアドバイスをお願いします。

竹中 そうやね、石けんは肌に合わせて選ぶとあきまへん。

菅原 それと化粧品もよほど注意して、人が使つてみて良かったと言ふものを使うのが安全でしょう。外人と日本人の肌はちがうんですね。コティイの香水なんかは香りが甘くてあまりきついことないので我々日本人向きといえるでしょうね。しかし、香水だけはフランスにはかないません。原料のちがいでしょうかねえ、歴史のちがいでいしょうかねえ。

小林 しかし、何もかも外国品でないといかんいうことはない。ただ衣料の方面でいいますと染色の技術と毛織ものの風合、この二つがまだどうしても追いつけないです。ネクタイの分野でも、西ドイツのあのすばらしい染色はまねできないんです。それは工場の設備の問題ですね。ちり一つないエアコンディションでいつも同温度を保ち得る工場が必要です。そうしないと鮮明なプリントは出来ません。高くとくそうですな。

竹中 結論としましては、要るものは買おう、そしてその分は働いて稼ごうということになりまスカな。それと、舶来品を盲目的に礼讃するという態度は捨てて、生活にプラスになるものだけを選んで買うことが大切なんやね。

(オリエンタルホテルで)

## ピンク・コーナー



近ごろアメリカで紙巻きタバコが肺ガンの原因になるといふらしい学者の発表があつて、とたんに日本でもパイプ党がふえたらしいです。それはいいのですが、パイプにまつるキザミの方が売り切れになるしまつです。しかし、中につめるものはなくとも、パイプは大事にもつていらっしやい。そしていつもズボンのポケットに入れておくことです。

昔からパイプにはエロティックな連想があります。あのパイプを目を細めてなでさすっている人の顔を見ると、あるパイプ党がみじくもいった「紙巻きは女中と寝るようであと味が悪い。パイプだけは好いた同士がじっくりと寝ているような味がある」という言葉を思い出さずにはいられません。

ダンスホール花やかだったころ、いつもズボンにリンゴやマリを入れている男性がありました。そうすると、踊っているうちに相手の女性の顔が紅潮し、息使かひが荒くなつてくるというのです。しかしこんなデマを信じてはいけません。相手の女性から「まあ失礼な」と平手うちを食うぐらいが関の山だったに違いありません。なせってリンゴをズボンのポケットに入れるとふくれ過ぎますからね。そこへ行くパイプは手ごろです。とがめられても、パイプなら恥をかくのは女性の方です(Ｔ)

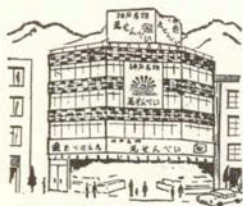




神戸名物

万寿んべい

神戸 まんじゅう



新菊水総本店ビル

地上4階・地下1階  
昭和39年12月完成予定  
(現在地ヨリ 100米南)

創業明治元年

菊水総本店

神戸楠公神社前④1310・1382・9874

神戸っ子の味覚に  
ぴったり、又平の早馴れ鮓

□又平クイズ□



私が又平です  
毎度ありがとうございます

- ▶問題 「又平」という家号を命名していただきました。その人の名前をお答え下さい。
- ▶ヒント 歌舞伎の役者で、テレビで人気のある林与一のおじさんです。
- ▶賞品 又平のパーモンド栄養食レモン酢と蜂蜜で味付けた「早馴れ鮓」1折(2本入)を10名さまにさし上げます
- ▶官製ハガキに答えと住所・年令・職業を明記。4月30日メ切。発表は5月号の神戸っ子誌上「又平」の広告ページです。

鮓の又平

神戸市生田区下山手通2丁目315  
電話・三の宮③0935

# 神 戸 遊 戯 誌

8

町の玉突き屋は昔も今も変わりなく、明治、大正時代から昭和へかけて四つ玉の玉突き台が二台か三台、せいぜい四、五台のところが多く、中には、うち一台ほどポークラインのところもちょいちょいあった。ただ、大正早々にアメリカから帰国したプロの山田浩二が東京の丸ビルの八階に十台の撞球場をつくったのが、*「マンモス撞球場」*らしい面目を誇っていた。しかも、大抵のところはゲーム取りを置いていたのに、ここでは天井にソロボンをつけてゲームをやりながら自分で数字を入れる方法だった。だが、玉突きはやはりゲームとりの声のリズムに乗って突く方がよいらしく、当時はどこの店にも若い女のゲームとりがいるのが普通になって、丸ビル撞球場のソロボン・システムは間もなく立ち消えになった。もともとゲームとりがいたのは日本だけで外国には例がないわけだが、やはりうまいゲームとりがカウントをと



大正14年頃アメリカのプロ選手カクランが来日、鈴木亀吉と試合をしたときの写真  
左より佐々木喜太郎、鈴木亀吉、藤原重男、カクランの各選手

つてくれる方が、ゲームの調子が出てくる、という人々が多いところからみると求人難のためにゲームとりが減りつつある今日の玉突き屋の窮状が惜しまれる。ゲームとりなしで客同士で勝手に突くノーカーント・システムが最近ふえているが、将来人手ができればやはりゲームとりが必要だろう。昔のゲームとりの中にはなかなか優秀なのがいて、女の子でも二百点ぐらい突く腕前の者がいたが、初心者などにはなかなか親切に教えてくれたものだ。

明治はもちろん、大正時代になっても町の玉突き屋へ来るお客の大部分は和服で、洋服は一刻か二割だった。高ゲタをはいたり、角帯、前かけ姿の客も多かった。ビリヤードに備えつけのタスキがあつて、まるで昔の仇討ちのようなタスキがけの客の試合ぶりが昭和初年ごろまでみられたのも面白い思い出である。当時すでに五百点

ビ リ ア ー ド

②

青 木 重 雄

以上を突いて先生株だった石坂幸三郎氏が初めて洋服をつくったのが、神戸海運倶楽部で活躍していた大正七、八年ごろ（氏は二十三歳ぐらい）だったそうで、それまでは角帯、前かけ姿だった。そして、石坂氏のようなコート格は、撞球場では「玉ボーイ」と呼ばれていたが、地方へ行って教える時はハカマ姿で出掛けて、名前もことさらに「石坂師範」と呼ばれた。

その頃、「玉突き百になるまでに借家一軒とばす」ということがよくいわれていた。酒や女遊びと違ってみかけはいたっておとなしい球戯だが、百の腕前になるまでにはかなりの年月がかかる。その間に借家一軒分の金額千円ぐらいは使ってしまう、というわけだ。だが、玉突きに入れ揚げて身を滅したという話を今日まであまり聞いたことはないから、玉突きはほかのバクチに比べると、やはりスポーツのにおいの方が濃いようだ。まして、当時は第一次大戦後の未曾有の好景気時代のことだ。とくに神戸海運倶楽部や日船、神港倶楽部などでビリヤード熱をあげていた船主や財界の人々にとっては、そんな経費など問題外だし、なかには自邸に玉突き台をおく人もふえていたから腕はメキメキ上達した。名士の中にもプロ級の人々がかなり生まれた。金を湯水のごとく使う。大好景気ムードが玉突きだけでおさまるはずはなく、ゲームが終わると勝者と敗者は一緒になって、人力車をつらねて花隈や福原へ出かけて豪遊することもしばしばだった。

海運倶楽部で三日間にわたるビリヤード大会が開かれたことがあったが、岡田信一郎氏（岡田汽船株式会社専務）がみごとに優勝して三十もの賞品を獲得した。ところが、この後がタイヘン。参会者一同が帳場から二十台以上の人力車をつらねて福原の松浦楼へ出かけて飲みや歌えの大散財をやらかしたうえ一泊したというから、今から思えば全く夢のような話だ。

ビリヤードが日本で初めて盛んになったのは、むしろ大東京だったが、関西では外人の多くいた神戸がやはり大

阪より早かったようだ。居留地の神戸倶楽部などずいぶん早くから玉突き台を備えていた。また、大正時代、アマチュア競技も大阪より神戸のメンバーの方が強くて、阪神対抗試合が時々催されたが、ほとんど神戸側が勝つたものだ。大正から昭和へかけて、玉突きはいよいよ盛んになって、サラリーマン、商売人、学生などあらゆる人々が楽しんだが、同時に各クラブでも町の撞球場でも、プロやアマの試合が盛んに行なわれた。会社の対抗試合もよく催された。日華事変の前ごろ、川崎車輛に勤めていた坂口千雄氏（現在、川崎興産株式会社専務）の話だが、ある時、東尻池の川崎航空の連中と組んでダンロップのビリヤード組と四つ玉の対抗試合を催すことになった。五名づつ組んで、双方の持ち点は三千点だった。試合が始まってしばらくすると、川崎はダンロップに早くも千点近くの差をつけられた。ところが、奮起一番した坂口氏が大奮闘の末みごとに八百六十四点を突き切ったため、川崎組はたちまち気をよくして、みるみるうちに勢いをもり返して勝ってしまった。あとでおさまりの懇親会となって花隈へ出かけたが、花隈行きは試合前からのダンロップ側の提案だっただけに、この番狂わせは川崎組にとっては笑いのとまらぬ痛快事だったそうだ。とくに、持ち玉三百点だった坂口氏にとっては、八百点以上を突いた離れわざは一生忘れられぬ思い出となった。

だれもかれもが玉突きに熱中していたといっても、行き過ぎで、仕事などの邪魔になるのを心配する。警戒ムードもあった。これも坂口氏の述べたが、百五十を突いていた頃のある日、川崎車輛の上役だった川崎芳熊氏（当時、労務部長）に、うっかり「玉突きが好きです」といったら、「極道者や」といわれた。ちょっとシニョンとなっていたら、当時やはりビリヤードをやっていた辻谷正輔氏から「そんなこと気にするな」と慰められたことがあったそうだ。

# 神戸うまいもん巡礼

No. 20

## 赤尾兜子

### 日本料理の巻

いぜんからトリ料理は名古屋という声が高い。その理由は、濃尾平野が鶏の大きな生産地だからである。神戸は、背後にそれほど大きな生産地をもたない。が、鶏が京阪神の市場へ入るいわば表門のようなところだから、いきおい、いい鶏を集めやすい。

大、小とりませて数多くのトリ料理店があり、それ相当地な品を提供しているのは、こうした背後のせいだと私は理解している。

トリ料理にも、メニューはいろいろある。しかし、水たきには、とくに秀抜な店がない。上位に焼トリをおくのが、妥当というものだろう。

大正元年の創業、つまり五十年あまりの歴史をもつ、神戸の元祖、「八栄亭」(新開地、松竹座北東北に)が古く、しかも風格がある。数年前死んだ女太夫の店主、八重さんの名を店の名にした。かつて新開地は神戸の盛り場を一手ににぎって牛耳っていただけに、ここへ集ってきた人たちがこの店の有力な客だねでもあった。店の構えやたたずまいはその昔とほとんど変わっていない。ごくきさくで、庶民的、荒っぽい感じとっていいくらいである。(最近のスマートな新型焼トリ屋にくらべると)み、きも、かわ、ずり各一人前四串で一〇〇円。ミックスした一皿でも同値、備長(びんちょう)の炭火で焼く。炭が八分目へったところで、足すというしきたりも

昔のまま。カンドころのタレは醤油と調味料二種類をまぜてあるのだが、こいつは秘伝で明かさない。シニセは、よくしたもので、タレひとつにしても、なぜかびったりと舌に乗るから不思議だ。

もも焼きは、タレをつけたつけ焼きと、塩焼きにしたレモンをふりかけるのと二つあるが、いずれも二〇〇円。秋から冬へは、すずめとうずらが登場、醍醐味が満喫できる。すずめは四羽二〇〇円、うずらも同値。八重ばあさんが研究して考えたというとり井(二〇〇円)も格別な味わいがある。上、下に同名の二店、また三宮、大阪北にも同名店があるが、四人の姉妹が、のれんわけをして各店に分かれているわけで、発祥は新開地のこの店から。味や秘伝のタレはむろん譲りうけている。

新しいところでは、店歴十年の「土井」(生田区三宮一丁目、ダイエー西)がよい。北側に新店を開いたので、南、北に二店ならんだが、主人は、前身が日本料理の板前さんだけに、店ぜんたいにさっぱりしたフンイキが流れている。多少ごてつき、べたついたあの焼トリ屋情調がすきな人には、すっきりしすぎて、やや頼りないかもしれないが、ことさら昔型に抱泥している必要とてないのだから、これでいいのだと私は思う。二店あわせて、六十人はいれ、二階に座敷もある。広い。

タレは、醤油にミリン、砂糖、氷砂糖を使って、やや

甘味が勝ち、トリとまったりした合い口。み、きも……  
 ずりのほか、かわには、頸部のかわと殿部の脂かわの二  
 種、脂かわの方は、ぐっと脂っこい。ひき肉ときくらげ  
 などをミックスした串ざし団子のような「みんち」もあ  
 って、その工夫ぶりも目につく。一串各三十円。私は、  
 とりわけ、きも、かわ、手羽先（手羽先のみ一串三五  
 円）がすぎだが、大根おろしとざっくり皿に盛りげたキ  
 ャベツが、前においてあって、それで自由に口なおして  
 きるセンスのいい配慮も気に入っている。

もも焼き（二五〇円）から揚げ（二五〇円）焼鳥丼  
 （二二〇円）鳥茶漬（二五〇円）冬場はうずら（二五〇  
 円）すずめ（一〇〇円）もあるが、家族ずれがいたって  
 多い。

十数人の女店員が、忙しく立ち働き、焼き手にもなっ  
 ている。評判がいいだけにマス・プロにとかくつきもの



写真上は清潔な「土井」の店内・下は「八栄亭」の門構え



の味の低下を来たさないう、この際くれぐれも望んで  
 おこう。

ついで店歴七年、二十数人で満員、決して大きな店では  
 ないのだが、「美美」（国鉄三宮駅地下道秀味街）はち  
 よっと乙な店である。板前は、早大を中退、三十余年の  
 経験の持ち主。焼トリは、すずめのほかは一串二十五  
 円。開店らしい値段は、据えおきのままである。もも料  
 理は二〇〇円から。トリ飯は一〇〇円。もものホルモン  
 風のみそ焼き「勘平」や身の酢のもの「お軽」といった  
 異色の一品もあるが、どうも板前さんがこみいった細工  
 が得意らしく、そんな趣味を持ちあわせる人には、えが  
 たい店のひとつといえるだろう。店がたてこむ時には、  
 サービスはよろしくない、そのつもりをしていた方が変  
 な誤解がなくていいであろう。

## ホスビタル紳士

文・竹田 洋太郎  
え・鴨居 玲

最近、紳士、非紳士を含めて最大の話題といえは病氣であり、ことに癌である。癌の専門医が癌で死去され、有名な文士がつぎつぎと癌に侵されている。さらに煙草が肺癌の原因という米国公衆衛生局の発表などもあって紳士も幾分心の動揺はかくせない現状である。

その他、紳士には特有の病氣、たとえば痛風、糖尿、高血圧などがあって、種々の健康法、治療法を試みる人も多い。また自動車による事故なども頻発しているので紳士が入院するハメに陥ることも少なしとしない。

一方、紳士はときに「人間ドック」にはいつて各種の検査による診断を求めることも多い。そこで入院した際の紳士の一般的心得をのべてみたい。もつとも会社の経理状態が悪化したため、とか、労組がうるさいので、とかが真の理由である入院は紳士のなすべきことでないから、ここではのべない。

まず紳士にとって入院は人生のこよなき休息であり、次の活動の準備期間である。これを善用することは紳士にさらに磨きをかけることになる。またその間もさまざまに思いをこらし、人生を楽しむことである。

その一例として次のような方法が推奨される。

入院後最低三日間は絶対「面会謝絶」とすること。たとえヒョウソウの手術で入院した場合も人間ドックの場合でもある。その場合、家人や会社へ「絶対」であることを強調する。すると会社の同輩、下僚間で必ず動揺がおきる。「社長はそろそろダメなんじゃないか」とか

「あの人はいい人だった」とかいう奴が出てくる。退院後そういう連中の期待を破ることが大きな楽しみの一つである。また、見舞いと称して点数かせぎをする連中を遠ざけることも健康によい。

次に、入院中はできるだけ病人らしくすることである。頭髮もヒゲものび放題だと、その後見舞いにくる連中に前記の期待や確信を深めさせられる。(世間の常識に反して、真の紳士は無情なのである)

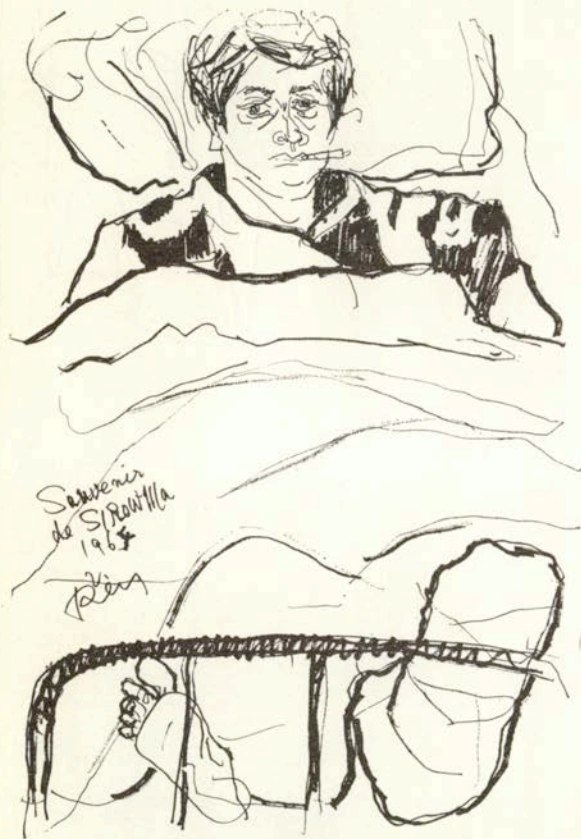
退院後、一般には病氣を極めて大げさという人物と、全然大したことなかったと軽くいう人物に分類されるが紳士はこのどちらにも属してはならない。紳士は一切病状についてのべないことである。そうすればよけい他人は「あの病氣はやっぱり人にいえないほどのものだ」と判断する。そうさせておいて、できるだけ長生きするくらい意地悪い楽しみはないのである。

紳士は会社の書類やそれに関係した書物を病院に持ち込んでほならない。持ち込む必要がある場合はかくして置くことである。

また、見舞品は、どうせ果物籠くらいが多いが、それは病室に並べておくこと。すると貧弱な見舞品をもっていった者が困るからである。

病室のにおいを消すためオードロンをまいたりする人があるが、そのような場合は家の仏壇から香りのいい線香をもってこさせてくゆるらせる。見舞客がドアを開けるや否や「とうとう」と思ったら効果があがったことに

## 「別冊紳士入門図解」



上図は小生画像。左足のギブスをご覧あれ。入院既にか月、ホスピタル紳士として多くはかたりたくない。

スネにキズ持つ男

レイ・カモキ

なる。また近くの病室の患者にも相当のショックを与えることができる。(病院から禁じられることがあるから注意)

意地悪が紳士の存在価値であることはしばしば明らかにしたが、入院中、医師と看護婦に対して意地悪は行なうてはいけない。というのは、病床にある人間のする意地悪はしているが、医師や看護婦は、やろうと思えばどんなこともできるのだから勝負にならないのである。ただ一つ、枕元にドイツ語と英語のグラフィック雑誌を二、三冊置いておくと、お医者さんの方がカルテを書いたりする場合妙な具合になることもある。

家族の看護は最少限に止めること。現在原則として完全看護の態勢がとられているからでもあるが、家族があまり病室にがんばっていると、バーのマダム、ホステスといった美人の見舞客がトタンに少なくなる。夜しか見

たことのない彼女たちを昼見るのは健康回復に大きなプラスだといわれている。

さて充分健康回復し仕事についていた時は「人間ドックで見てもらったら三十代の身体だそうだ」などと決めているってはいけない。黙ってうっとおしい顔をしていること、これが紳士の「平常心」で、病気の話題は紳士の間のみですることである。だが自分の病気を話してはいけない。「自分の入院してたとき、あなたと同じようなことをいってた人がいたが事後はよくなかった。だがあなたは大丈夫だろう」とかいつて入院の経験をタテに相手方にショックを与えることである。

註：「ホスピタル」でなく「ホスピテル」なるものが近くできるらしいが、原則的には同じと考えてよい。ただホスピテルの方は入院料が恐しく高いだけである。